



日の岬パーク

## 日高地方の その他の観光名所



清流日高川



南部梅林



道成寺



藤棚ロード

# 紀伊路

## 日高地方の 熊野古道と観光情報

### 日高地域の特産品



#### 梅・梅加工品

和歌山県は日本一の梅産地！紀州南高梅のふっくらピチピチの梅をご賞味ください。  
梅干も白干しやはちみつ漬など色々ございますので、是非お気に入りの逸品を見つけてください。



スターチス

うすいえんどう

みかん

#### 農産物

温暖な気候を活かし、四季とどりの果樹、野菜、花が栽培されています。  
現地にて、是非ご賞味ください。



#### 紀州備長炭

備長炭は和歌山が発祥の地で、江戸時代に開発されました。県の木「うばめがし」をじっくり焼いて一気に冷やすことで、白炭と呼ばれる備長炭が出来ます。  
また、日高町は日本一の黒竹の里で、趣のある黒竹民芸品も生産されています。



#### 黒竹



#### 海産物

紀伊水道で育ったアジやイワシなど新鮮な魚がいっぱい。魚の旨みをギュッと閉じこめた地物の干物や釜揚げしらす。  
その他、名物クエ料理など日高の美味しい海産物をご賞味ください。

#### 蒲鉾

ふんわり、シコシコ、口の中に広がる新鮮な魚の風味。紀伊水道の豊かな海が育んだ紀州のかまぼこ。  
一般の焼きかまぼことは少し違う「なんば焼」。これは、板なしの四角いかまぼこのことです。



#### 味噌・醤油

鎌倉時代、由良町・興国寺の開山「法燈国師」が中国の径山寺で習い覚えた製法を持ち帰ったのが始まりで、金山寺味噌は醤油の原点となったものです。  
金山寺味噌は、麦、米、瓜、茄子、生姜などが入った「食べる味噌」です。



お問い合わせは

### 日高広域観光振興協議会

#### 日高振興局 地域振興部 企画産業課内

〒644-0011 御坊市湯川町財部 651  
TEL. 0738-24-2946 FAX. 0738-24-3312  
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/130500>

観光に関するお問い合わせは

|            |                        |                  |
|------------|------------------------|------------------|
| 御坊市観光協会    | 御坊市 350 御坊市役所内         | TEL.0738-23-5531 |
| 美浜町役場産業建設課 | 日高郡美浜町和田 1138-278      | TEL.0738-23-4951 |
| 日高町観光協会    | 日高郡日高町高家 626 日高町役場内    | TEL.0738-63-3806 |
| 由良町観光協会    | 日高郡由良町里 1220-1 由良町役場内  | TEL.0738-65-1203 |
| 日高川町観光協会   | 日高郡日高川町土生 160 日高川町役場内  | TEL.0738-22-2041 |
| 印南町観光協会    | 日高郡印南町印南 2252-1 印南町役場内 | TEL.0738-42-1737 |
| みなべ観光協会    | 日高郡みなべ町芝 742 みなべ町役場内   | TEL.0739-72-4949 |



切目王子



鹿ヶ瀬峠



千里の浜

# 日高地方の熊野古道と観光情報



### 温泉情報

| お問い合わせは        | 電話番号         |
|----------------|--------------|
| 温泉館「海の里」みちしおの湯 | 0738-64-2626 |
| かわべ温泉「ささくの湯」   | 0738-52-0988 |
| あやめの湯「鳴滝」      | 0738-54-0488 |
| きのくに中津荘        | 0738-54-0082 |
| 美山温泉 愛徳荘       | 0738-57-0241 |
| 美山療養温泉館        | 0738-57-0411 |
| 鶴の湯温泉          | 0739-75-2616 |
| 国民宿舎紀州路みなべ     | 0739-72-3939 |
| 紀州南部ロイヤルホテル    | 0739-72-5500 |

## 熊野古道とその周辺の観光を楽しもう！

### 和歌山県の朝日・夕陽100選(日高地方)

|      |            |    |
|------|------------|----|
| 御坊市  | 日高川河口      | 夕陽 |
| 御坊市  | 御坊総合運動     | 夕陽 |
| 美浜町  | 煙樹海岸       | 夕陽 |
| 美浜町  | 日ノ岬        | 夕陽 |
| 日高町  | 産湯海岸       | 夕陽 |
| 日高町  | 西山緑地公園     | 夕陽 |
| 由良町  | 戸津井        | 夕陽 |
| 由良町  | 白崎海洋公園     | 夕陽 |
| 日高川町 | 道成寺        | 夕陽 |
| 日高川町 | かわべ天文公園    | 夕陽 |
| 日高川町 | あやめ橋       | 夕陽 |
| 日高川町 | 椿山ダム       | 夕陽 |
| みなべ村 | 南部梅林       | 夕陽 |
| みなべ町 | 千里の浜(熊野古道) | 夕陽 |
| みなべ町 | 堺          | 夕陽 |
| 印南町  | 風早海岸       | 夕陽 |
| 印南町  | 田尻海岸       | 夕陽 |



### 凡例

- 自動車道 (Expressway)
- 国道 (National Road)
- 主要地方道 (Main Prefectural Road)
- 市町村界 (Municipal Boundary)
- JR路線 (JR Line)
- 熊野古道 (Kumano Kodo)
- 龍神自動車 (Ryugojima Bus)
- 市町村役場 (Municipal Office)
- 温泉 (Hot Spring)
- 朝日夕陽百選 (100 Best Sunrise/Sunset Spots)



由良町・日高町の観光



**熊野古道 (鹿ヶ瀬峠)**  
鹿ヶ瀬峠には、古道最長の石畳道が残っています。

紀伊路最大の難所鹿ヶ瀬峠は、歌人・藤原定家を「次にまたシシノセの山をよじ昇る。崔嵬の険阻」と嘆かせたところ。峠手前の井関には、旅籠が軒を並べたといわれる旅籠通り、峠過ぎには熊野古道で現存する最長の503mにも及ぶ石畳道や茶屋跡、墓石群が古道の雰囲気や今に残っています。石畳を下りれば黒竹の里として知られる原谷の里。古道沿いにも光沢ある黒竹林が並んでいます。

<B-2>



徳本上人像

徳本上人・誕生院

徳本上人は、宝暦8年(1758)6月22日、日高町志賀に生まれました。数えでわずか2歳の年、姉に抱かれながら、月に向かって「南無仏」と唱えたとか、4歳のころ、仲のよかった隣家の子どもの急死に無常を感じ、常に念仏を唱えるようになったとかの逸話が残っており、幼いころからすでに強い出家の意思を抱いていたようです。天明4年(1784)に出家した後は、草庵に住み、1日1合の豆粉や麦粉を口にするだけで、ひたすら念仏を唱え続けました。また、水行をしたり、藤の蔓につかまって崖をよじ登るなど、他に例のない過酷な修行をしたことも伝えられており、行場跡も多く残っています。

寛政6年(1794)ころから始められたといわれる全国行脚は、紀伊・河内・摂津・京都・大和・近江・江



誕生院

戸・相模・下総・信濃・飛騨・越後・越中・加賀など、驚くほど広い範囲に及んでいます。上人の足跡を物語る名号碑は、全国各地に千基以上あり、その信仰は今も庶民の間で生き続けています。誕生院は文政7年(1824)の開基で、上人の誕生地であることから、紀州藩主・徳川治宝の許可を得て、誕生院と称するようになりました。

本堂は嘉永4年(1851)徳川治宝の命により建立されたものです。上人ゆかりの遺品を多く所蔵し、寺の裏手には上人幼少期の行場跡や上人の舎利・遺髪を納めた名号塔があります。生家跡は「徳本上人誕生遺跡」として、県の史跡に指定されています。

<A-3>



興国寺

醤油文化の発祥地と共に天狗伝説も語り継がれる興国寺。

火事で焼失した伽藍を赤城山の天狗が一夜にして再建したと伝えられています。開山として親しまれている興国寺は、鎌倉3代将軍源実朝の菩提を弔うために建てられた西方寺が前身で、安貞元年(1227)に建立。

後に法燈国師を迎え、宗旨を禅宗に改めてからは「紀に興国寺あり」といわれるほどに。

国師は、中国で習得した径山寺味噌の製造過程から醤油を生み出したといわれています。 <A-2>

戸津井鍾乳洞

スリル満点のアドベンチャーを味わうなら戸津井鍾乳洞へ。



温泉館「海の里」みちしおの湯  
陽光きらめく紀伊水道が目の前に広がる温泉館。

潮風とともにゆっくり流れる時間に浸りませんか。お問い合わせ先 TEL 0738-64-2626 <A-2>



白崎海洋公園  
まるで異国を想わせる、藍と白の別世界。

石灰岩の地形をそのまま活かした白崎海洋公園は、青い海と氷山のような白い岩肌のコントラストが美しく、スキューバダイビングやキャンプを楽しむオーシャンリゾートとして絶好のロケーション。また、ドライブ途中に気軽に立ち寄れる道の駅でもあり、誰もが絶景のパノラマを満喫できるヒーリングスポットです。特に展望台からの眺望はすばらしく、遠くは淡路島や四国までも見渡せます。

古くは万葉の歌に詠まれ「日本の渚百選」にも選ばれた白崎海岸は、まるで異国の別世界に足を踏み入れたかのような、不思議な美しさが漂っています。 <A-2>





御坊市・美浜町・日高川町の観光



**道成寺**  
能や歌舞伎で有名な安珍清姫伝説。この伝説の舞台となっているのが、道成寺です。道成寺は、文武天皇の勅願で大宝元年(701年)の創建といわれ、国宝の千手観音菩薩、日光菩薩、月光菩薩をはじめ、数々の重要文化財が保存されています。縁起堂では住職による安珍清姫の絵説き説法がユーモア交じりで繰り広げられ、観光客の人気を集めています。 <B-3>



**寺内町**  
文禄4年(1595年)、当地に浄土真宗本願寺日高別院が建立され、「御坊所」「御坊様」と呼ばれるようになり、御坊市の名前の由来となりました。周辺は江戸時代に各地の特産物を扱う問屋などが軒を並べ、寺内町として大変栄えました。今でもその面影を残した貴重な町屋と明治から大正・昭和と日本が近代化していく時代の特性が残り、散策には最適です。(P14 おすすめウォーキング5) <B-3>



**中津温泉あやめの湯鳴滝**  
日高川の清流扱い。元禄歌舞伎の女形「芳澤あやめ」の生誕地に湧く療養温泉。神経痛、筋肉痛、慢性消化器病などに効きます。お問い合わせ先 TEL 0738-54-0488 <C-2>

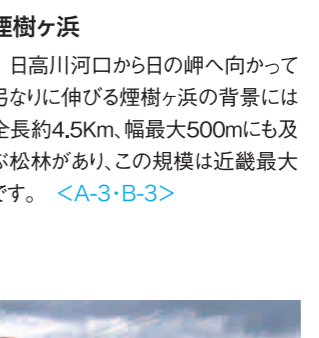


**日高川の清流扱いにある「かわべ温泉ささくの湯」**  
紀州杉を使った建物、四季折々の自然を感じることができる露天風呂など、ゆったりとくつろげます。透明なお湯はヌルリとした肌触りで、保温効果も高いのが特徴です。隣接する「ペンションささく」では季節の料理が楽しめ、宿泊も可能です。川辺ICから5Kmとアクセスが良いのも魅力です。お問い合わせ先 TEL 0738-52-0034 <B-3>

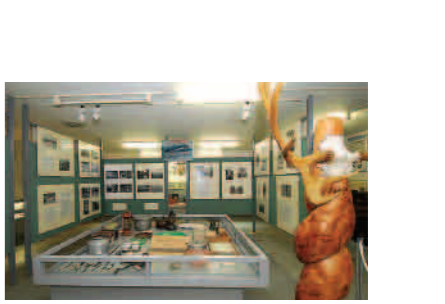
**紀州鉄道**  
御坊駅～西御坊駅を結ぶ紀州鉄道は、営業距離2.7kmの西日本一短い鉄道です。車両の特徴として、2軸(車輪が4輪)レールバスとなっており、全国でもバス型タイプで走る車両は紀州鉄道だけです。時速20数kmでトコトコ走る姿を見るため、全国から鉄道ファンが御坊を訪れます。また、途中の「学門駅」のお守り切符は、受験生の心強い縁起物として大人気です。 <B-3>



**煙樹ヶ浜**  
日高川河口から日の岬へ向かって弓なりに伸びる煙樹ヶ浜の背景には全長約4.5Km、幅最大500mにも及ぶ松林があり、この規模は近畿最大です。 <A-3・B-3>



**中津ふるさと産品展示販売所**  
中津ふるさと産品展示販売所は、道の駅「San Pin 中津」の愛称で、町の観光インフォメーション・センターとして親しまれています。山の幸、川の幸などさまざまな特産品をはじめ、観光案内パンフレット、道路・観光案内板、マルチメディア案内装置が設置され、日高川町の情報が手にとるように知ることができます。駐車場・トイレ・電話は24時間利用可能。休息にも気軽に立ち寄れます。地方発送承ります。 <C-2>



**日岬灯台**  
紀伊水道を航行する船の「みちしるべ」として重要な役割を果たしています。現在の灯台は、昭和二十六年に改築されたもので大型灯台では初めてのタイル張りです。 <A-3>

**カナダ資料館**  
19世紀末にカナダへ移民した人々が、帰国後に持ち帰った当時のトランクや蓄音機・ミシン・衣類などの生活用品、漁業林業道具パスポートや出生証明書、手紙などの資料を太平洋戦争時の強制収容などの苦戦の歴史を写真を交えて展示しています。 <A-3>



印南町の観光

愛伝説

瀧法寺  
聖の君と瀧姫伝説

弘仁元年春、弘法大師、三十七才の時、この地で御修法されたと言われる。「後の世に愛で導く愛染瀧姫生る」との説法と言い伝えあり、江戸時代初期、お告げ通り、「お愛」が生まれ、寺の申し子「瀧姫」と慕われる。金龍満願不動明王の化身聖と君と縁を結ぶ。民の幸せを願い聖の元に昇天。後に瀧姫愛染堂建立。今も良縁祈願の参拝多い。 <B-4>



東光寺  
小栗判官照手姫物語

室町時代、明秀光雲上人により、浄土宗に改宗されたお寺。この寺院は昔から名付寺ともいわれ、子供が生まれると住職から名をつけてもらい、子の健康を祈る風習がある。また、県下二番目に古いナギの木は樹齢約七百年余といわれ、県指定文化財。小栗判官と照手姫が熊野に向かう道中、東光寺に逗留。お薬師さんのお告げでピワ湯治療をし、薬師堂に2日間籠る。照手姫が集めてくる小石に一石一字薬師経を書き如来に奉げた。ついに結願、熊野湯の峰に向かう。 <B-4>

<関連写真／坂下緋美 資料>



印定寺  
角屋悲恋物語

経節発明者・角屋甚太郎の位牌を祀る由緒ある寺院。甚太郎の子孫・角屋甚三郎の一人息子と市と、奉公人おさなが恋仲になる。時は封建時代、この縁は許されず、明和7年(1770)10夜に、二人は印南の濱・高岩に身を投じるとい角屋悲恋物語が伝わる。甚三郎は世をはかなみ、印定寺に金二百両、什器などを寄進。二人の永代供養を頼み、船団を率いて土佐に移住。以後角屋の施餓鬼供養が今日まで続く。昭和の代に、二人の供養する比翼塚建立される。 <B-4>



<関連写真／坂下緋美 資料>

印南のパワースポット

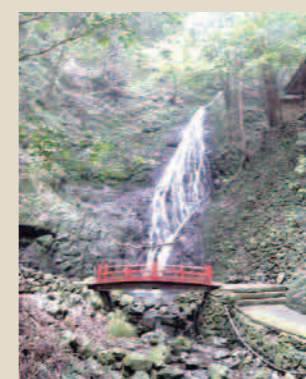


切目王子

平清盛の評議の場所として、また、後鳥羽上皇が歌会で国宝の歌を遺したなど歴史的に由緒逸話の多い王子である。熊野古道紀伊路の中でも、檜皮葺きの屋根が敵かな付まいをみせ、訪れる人に癒しを与えている。

拝殿の前にたたずむと、文化財のホルトの木や初代紀州頼宣公寄贈のナギの木など切目王子の社叢に包まれ、神前や樹木の力を浴びるかのようである。まさにパワースポットと言える。平清盛や後醍醐天皇の皇子大塔の宮が岐路に立った時、決意を固めた場所との逸話から、大事なことを決める時、この王子にお参りするといふ。 <B-5>

<関連写真／坂下緋美 資料>



川又観音の菱の滝

印南町の山奥に、霊験あらたかと伝えられる川又の観音さんが鎮座している。知る人ぞ知る、お参り所であるが、最近各地で言われる「パワースポット」の場所、まさにこの川又観音がその一つである。

印南町役場から車で約四十分のところにあるが、その一番奥に美しい菱の瀧が流れ、その右側の石段を登ると奥之院がある。このお山全体が、神秘的でもあり、霊験あらたかと言われる所以でもある。とにかく、この場に来ると体中が癒される感じがする。 <D-3>

収穫体験



<いちご狩り>  
有機肥料にこだわった甘い完熟いちごです。  
品種:「さちのか」「まりひめ」  
料金:中学生以上1,300円。  
3才から小学生まで1,000円。  
3才未満無料。

<ぶどう狩り>

有機肥料100%のぶどうです。  
品種:「テラウェア」「巨峰」  
「ピオーネ」「マスカット」  
料金:大人800~1,000円。  
3才から小学生まで600円~800円。  
3才未満無料



<カーネーション収穫体験>

料金:お一人様10本1,000円。



お問い合わせ先  
印南町観光協会  
TEL 0738-42-1737



**ひとくちメモ**  
 各所に梅林が見られるこのコース。途中の「紀州梅干館」では、梅干し工場見学も可能です。  
 また、この「紀州梅干館」をはじめ、南部駅周辺でも、おみやげ用の梅干しをお買い求めいただくことができます。

### みなべ町の観光



#### 鹿島神社

明治10年に須賀神社の分霊を鹿島の鹿島神社拝殿の地に勧請、さらに三鍋王子を合祀しました。合祀のとき三鍋王子社の本殿を移築したものです。春日造りで江戸時代中期の建造物と考えられます。拝殿前のヤマモモは、昭和8年に県指定の天然記念物に指定されていました。また宝永・安政大地震津波の記録が奉納されています。

<C-5>



#### 須賀神社

平安時代に京都祇園御霊宮(現在の八坂神社)から勧請した神社といわれ、村人たちから「ごりょうさん」と呼ばれ親しまれていました。社殿は春日造り、皮葺き棟札から享保5~6年の造営と思われる。往時は南部郷15か村の氏神として栄えたので、現在も社地・社殿を含めた神域に当時の面影を残す神社です。

<C-5>



#### 千里の浜

白砂青松の浜が続く長さ約1.3kmの美しいビーチです。熊野古道で唯一海岸を通ることで知られています。また、本州一を誇るウミガメの産卵地でもあり、毎年5月下旬~8月上旬にかけてたくさんのアカウミガメが産卵のため上陸します。アカウミガメの産卵の観察を希望の方は許可が必要です。

<C-5>

#### うめ振興館

日本一の梅の里「みなべ町」の梅の歴史や特徴を、映像や音声で楽しく学ぶことができる施設です。梅林大型パノラマ模型やマジックビジョンなど迫力あるブースから文化財や梅で染めた着物などみなべ町の情報がいっぱいです。3階の物産コーナーでは町の特産品も展示販売しています。

<C-5>

#### みなべ温泉

みなべ温泉は梅香丘温泉とも呼ばれ、神経痛、筋肉痛、切り傷、やけど等に効果があり、町内にある宿泊施設で楽しむ事が出来ます。

<C-5>



#### 紀州みなべ千里浜温泉

その名の通り、千里浜に湧く温泉。神経痛、筋肉痛等に効果があり、露天風呂からの海の眺めは絶景です。千里浜温泉の湯を引く宿は、紀州南部ロイヤルホテルのみ紀州備長炭を湯に溶かした珍しい黒湯もあり、まるやかなお湯が楽しめます。ホテルの西側には足湯も設置されています。

<C-5>

#### 鶴の湯温泉

鶴の湯温泉はその昔、鶴が羽を休め傷を治したと伝えられることから名前の由来となりました。古く江戸時代から湯治場として親しまれる、深い山あいの野趣豊かな温泉。鮮やかな山の緑や、清々しい川のせせらぎが、身も心も癒してくれます。切り傷や疲労回復に効果があります。

<C-4>

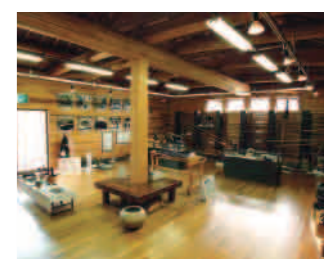
#### 紀州備長炭振興館

館内では備長炭の歴史や製造工程がわかる資料や道具の展示をはじめ、炭窯の見学や体験実習室での炭を使った風鈴などの工芸品づくりも楽しめます。タイミングが良ければ窯出しの見学もできます。

●開館時間:8:30~17:00 入館無料

●休館日:土曜日(6月は日曜日も休館)、

12月29日~1月3日 ●TEL:0739-76-2258



#### みなべ街中ウォーキング

みなべの街中を歩き、みなべの歴史を感じてみませんか。

##### ●大江家住宅(国登録有形文化財)

大江家は江戸中期に当地に住み、明治中期まで酒造業を営業してきた。主屋は木造2階建、間口は13間半(26m)、建築面積は約320平方mと規模も大きく、重厚な瓦葺の屋根と漆喰壁、繊細な格子構えをもつ質の高い町屋建築です。

##### ●南部町道路元標

道路元標は、各市町村の道路の基点であることから、市町村の交通の中心地に建てられたが、道路の幅の犠牲となり日高地方ではみなべ町の元標以外見当たらない。



##### ●南部駅(伝馬)跡

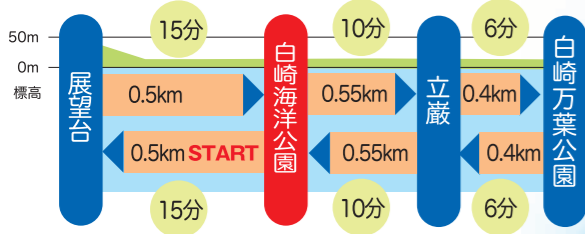
熊野古道が、この地を通るようにしたのは、江戸時代初期。藩の役人や荷物の輸送の利便を考え、街道の要所に設置した。伝馬所を経営していたのは岩代屋六兵衛。現在のオーモン電器付近。

##### ●創業100年を超える老舗の商店

◇ちぐすや商店(手作り金山寺味噌・しょうゆ等)  
 ◇大孫商店(しらす・干物・削り節等)

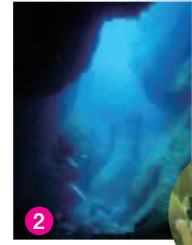
白い岩と青い海を満喫するコース。

●コース距離 2.9Km ●歩行時間約 1時間2分 エリアマップ<A-2>



展望台からのながめ

天気の良い日には北に淡路島、西に徳島県を眺めることができます。



地蔵の鼻

地蔵の鼻をはじめ白崎海岸には多くのダイビングスポットがあります。



白崎海洋公園

白崎海岸の岬一帯を公園として整備した白崎海岸の観光拠点です。様々な施設のある公園のなかでも、360度の眺望が楽しめる展望台はぜひ立ち寄りたスポットの一つです。



白崎パークセンター

白崎海洋公園の中心施設です。館内には地元の貝コレクター・故神田耕一郎氏のコレクションを展示する「シェルズギャラリー」があり、貝の魅力や不思議を体感できます。



ウミネコの産卵地

毎年5月から7月にかけてウミネコが産卵のために白崎に飛来し、白い巨岩や奇岩を舞い飛ぶこの地ならではの光景を見せてくれます。

立巖

白崎海岸の象徴といえるのが立巖です。海食洞の開いた巨大な白い岩門はウミネコの繁殖地としても知られています。近くの白崎万葉公園は立巖の雄大な姿が眺められるベストビューポイントです。



シェルズギャラリー

地元の貝コレクター故・神田耕一郎氏のコレクション約1,000種類を展示。氏の発見した新種等貴重なものも多数あります。また、海岸風景のジオラマや珍しい貝の映像もあります。●入館無料



白崎海岸に群生する水仙

白崎海岸の番所山には1万株もの水仙の群落があります。白い花が青い海と美しいコントラストを見せ、冬の白崎海岸を彩ります。

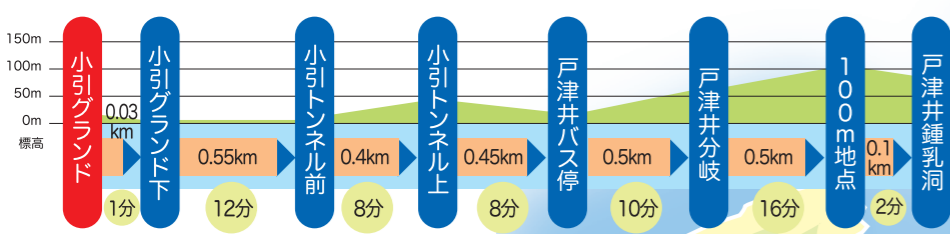


万葉公園

石灰岩でできた万葉歌碑を中心とした公園です。「白崎は幸くありまて…」の歌は701年に持統・文武両帝が白浜へ御幸されたときに詠まれたもの一首とされています。

鍾乳洞に眠る悠久の時。

●コース距離 2.53Km ●歩行時間 約1時間 エリアマップ<A-2>



戸津井漁港

漁港を跨ぐように架かる白い戸津井大橋が印象的です。戸津井漁港は釣り好きにも人気の港で、碎石場あなどり釣糸を垂れる太公望の姿も数多く見かけます。



十九島(スノーピー島)

戸津井漁港の西に浮かぶ十九島(つるしま)は、犬が寝そべった姿に見えることからスノーピー島と呼ばれて親しまれています。大潮の時には陸地から歩いて渡れます。

戸津井鍾乳洞

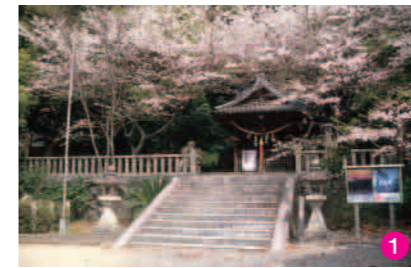
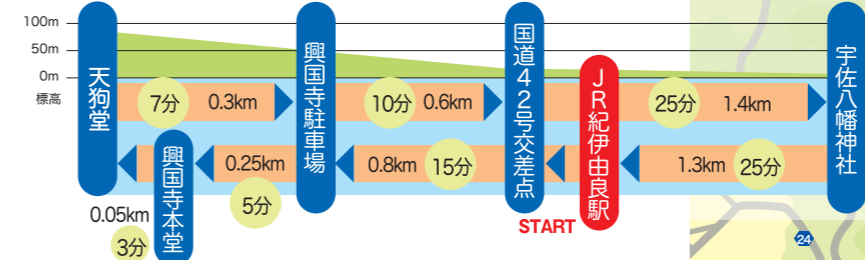
戸津井鍾乳洞は総延長100mと小さなものですが、2億5千万年以上も前のペルム紀の石灰石洞穴で、この年代の鍾乳石は学術的にも貴重なものです。夏でも涼しくほの暗い洞穴内を歩けば、わくわくするような冒険気分とともに、地球が刻む長い時の営みを実感できます。

●土日・祝祭日・春・夏・冬休みは毎日公開(12/31、1/1休み)  
●9:00~17:00 大人200円 小人100円から



伝説と歴史に彩られた二つの社寺を訪ねる。

●コース距離 4.7Km ●歩行時間 約1時間30分 エリアマップ<A-2>



宇佐八幡神社

神功皇后が三韓征伐の折に立ち寄ったとされる平石から何回も場所を変え、この地に遷されたといわれています。平安時代に創建されたという神社の境内は、春には桜の花が見事です。



興国寺

興国寺は正式には鷲峰山興国寺といひます。本尊の釈迦如来と四天王を祀る法堂には「関南第一禅林」と書かれた扁額が掲げられています。



美人伝説三寺院。それぞれの「愛の伝説」を巡る エリアマップ<B-4・5 C-4・5>



コース距離7.2km  
歩行時間約2時間

- 1** JR稲原駅  
▼ 1.7km
- 2** 瀧法寺  
▼ 3.0km
- 3** 山口八幡神社  
▼ 1.7km
- 4** 印定寺  
▼ 0.5km
- 5** 東光寺  
▼ 0.3km
- 6** JR印南駅



**瀧法寺**  
「聖の君と瀧姫伝説」  
里の娘、信心深い「お愛」が瀧姫として里人に慕われる話がある。



**印定寺**  
「角屋悲恋物語」  
江戸時代、経節発明者、角屋基太郎の子孫に起こった悲恋の実話あり、今も供養がおこなわれている。



**東光寺**  
「小栗判官照手姫物語」  
熊野湯の峰に向かう小栗判官と照手姫がこの寺に逗留枇杷湯で癒された話がある。

<関連写真/坂下耕美 資料>

大正ロマンが息づく町並み<寺内町> エリアマップ<B-3>



**紀州鉄道 1**  
JR御坊駅から西御坊まで約2.7kmのんびり走る日本有数のミニ鉄道で、途中にある「学問駅」のお守り切符は縁起がよいと受験生に大変人気があります。



**日の出紡績のレンガ塀 3**  
操業は大正2年(1913)日高地方の産業革命のさきがけとなった。今は、200mのレンガ塀が残るのみ。



**巽邸 5**  
戦前に建てられた木造2階建て。玄関庇や欄干の純粋な和の部分と鏝張りの洋の部分からなる和洋接合の建物である。塀にはこだわりの装飾を施す。元医院。



**小竹八幡神社 2**  
江戸時代に、元宮の地から徳川頼宣の別館にあった園殿跡に遷宮した。当社の祭神は菅田別命(応神天皇)・小竹大神等で、旧社地は「日本書紀」に神功皇后の小竹宮跡と記す。境内には菟浦廻船衆の寄進した石灯籠や、明治45年銘の石づくりの時計台が残る。



**堀屋野村 4**  
江戸時代の木造平屋作りの建物。本瓦の大屋根が覆い座敷窓を囲うベンガラの格子が長い伝統を伝えている。元禄年間より造られている登山寺味噌や昔ながらの醤油は有名である。



**御坊祭**  
昔から「人を見たけりや御坊祭」と例えられた日高地方最大の祭り。祭日は10月4日・5日で4人の子供を乗せた四ツ太鼓が町を練り歩いたり、県無形民俗文化財の「けほん踊り」等が奉納される。



**岸野酒造本家 6**  
木造本2階の店は大正8年に完成。敷地には酒造に使われた江戸・大正時代の酒蔵や、酒米を蒸した竈に煉瓦の煙出、井戸が残る。



**正宗屋酒店 11**  
昭和3年に完成した鉄筋コンクリート造2階建ての建物。土間の床には亀甲型の目地が入り、柱や天井に施された漆喰の装飾はすばらしい。



**川瀬家 7**  
江戸時代に建てられたつし2階、平入の建物。左に玄関、土間があり、座敷側の窓には格子が全面を覆い、軒下の塗り壁、正面左右に設けられた袖壁とともに落ち着いた町並みを見せてくれる。川瀬家は、大正・昭和にかけて林業で財をなした旧家である。



**園蔵薬局 12**  
代々薬業を営む。庇下の欄間に大学目薬・命の母など珍しい木製の看板がある。建物は明治以前の平屋本瓦葺き。内部の板間には昔の薬棚が整然と並んでいる。



**日高別院 8**  
文禄4年(1595)浅野家重臣佐竹伊賀守の尽力によって園村と鳥羽の荒地4町四方を得て堂宇を建立したのが始まり。文政8年(1825)に建立された本堂を中心に書院・庫裡・鐘楼・鼓樓・門が立ち並び、真言寺院としては紀州最大の規模を持つ。



**中川分家 13**  
横町の通りに面して主屋と蔵が並び、複雑に設けられた屋根の意匠に重層感を感じられる。窓外の格子は、板を曲面に彫り込むなど繊細な仕上げを行う。昭和初期に建築された邸宅である。



**元地方木材協同組合 9**  
戦後、一時華岡青洲の孫がこの事務所で医院を構えた。木造本2階建て、大正～昭和頃の建物。道沿い正面上部をガラス戸で仕上げ、特に玄関の引き違い戸は菱形の文様がセンス良くデザインされている。



**横町の有田屋付近 14**  
「うだつ」風に工夫されたサイン看板やショーウィンドウが、伝統的な和様建築にマッチしたお店。昔のベニヤ板で内装した店内にはガラス瓶や木製の陳列ケースが並び、大正頃の菓子屋の雰囲気がいよい。



**小竹岩楠の記念像 10**  
南紀白浜温泉の開発した小竹岩楠の旧邸南側に隣接して岩楠の胸像が建てられている。



**旧山本好一郎の洋館 15**  
昭和6年詩人野口雨情らと親交のあった山本好一郎が建築した2階建ての洋館。ここで、一時原勝四郎がデッサンに励んだという。南に大きな庭園を配し、「となりのトトロ」でツツキとメイが住んでいた家の雰囲気も漂う。



**獅子舞**



**四ツ太鼓**